

「令和2年度に実施した仕事」の振返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 3 年 4 月 14 日

事業名称		会計事務費〔備品事務〕											
予算科目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	5	会計管理費	事業番号	1		
事業の種別		☒ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし) ☐ 課内庶務等 ☐ 休止したもの ☐ 廃止したもの											
担当部署・課長名		会計			課			出納		係		課長名	當摩 弘
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号		行		— 2	
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現								総合計画書 (ページ)				122	
1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標）								
	主管課で備品の購入等（登録・返納・所属換）を行った場合に、会計課で備品登録システムによる処理を行う。 →				備品総数								
	② ①をどのような状態にしたいのですか。〔簡潔に〕				② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標）								
	備品の増減について適切に管理する。 →				主管課から依頼（登録・返納・所属換）のあった件数								
3	③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標）								
	主管課で備品の購入等を、備品登録システムにより処理（データ管理）する。 →				備品増減の処理件数								
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標					
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標					
	対象指標	①の数値	件	9,253	9,295	9,730							
	成果指標	②の数値	件	495.0	248.0	547.0							
	目 標	②の目標値											
目標値設定の考え方（課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。）													
3 経費	事業費（実績）		円	0	0	0	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)						
	財源	一般財源	円										
		特定財源	円										
		(うち受益者負担)	円										
	人件費 (目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1							
		所要人数(再任用)	人										
		職員人件費(再任用以外)	円	824,400	831,000	838,000							
事業費+人件費		円	824,400	831,000	838,000								
4 課題	今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） ※廃止したものを除く												
	特になし。												
5 今後の方向性	仕事の方向性（「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） ※廃止したものを除く												
	特になし。												